

LBD-PWA6U3CL_SG1 V01
Logitech ポータブル ブルーレイ ユニット
 LBD-PWA6U3CL シリーズ
セットアップガイド

このたびは、ロジテックの USB3.2 Gen1 (USB3.0) BD ドライブをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このセットアップガイドでは本製品の導入手順と基本操作について説明しています。別紙の「はじめにお読みください」と併せて事前によくお読みください。

はじめに ～ソフトウェアのダウンロードとインストールについて～

ソフトウェアは以下の URL からダウンロード願います。

■**CyberLink Media Suite 10 for BD Vol.31**
 URL : <https://dl.logitech.co.jp/software.php?pn=LST-D-490>

※ダウンロードには、ブロードバンド接続環境が必要となります。

CyberLink Media Suite 10 for BD Vol.31 は、インストールの際ソフトウェアのシリアル番号を(プロダクトキー)入力する必要があります。以下のプロダクトキーを入力願います。



※1台の PC にのみインストールしてご利用いただけます。複数の PC にインストールすることは使用許諾違反です。
 ※ダウンロード・インストール方法は裏面をご参照ください。

パッケージ内容の確認 はじめに箱の中に以下のものがあることを確認してください。

- ブルーレイドライブ本体
- USB3.2 Gen1 (USB3.0) ケーブル
 - ・microB-Type A (約 50cm) 1本
 - ・microB-Type C (約 50cm) 1本

セットアップガイド (本書)

はじめにお読みください / 保証書
 ※製品 / 付属品のイラストは実際の製品と異なる場合があります。
 ※お使いのパソコンによっては、USB パスパワー供給が不足する場合があります。電力供給が不足する場合は、AC アダプタ (別売り) が必要です。別売り AC アダプタ「LA-10W5S-10」をご購入ください。

最大書き込み / 読み込み速度

※ 下記の書き込み速度には、その速度に対応したディスクが必要です。
 ※ 8cm ディスクでも使用可能です。
 ※ 記載速度は USB3.2 Gen1 (USB3.0) 接続時のドライブの最大速度です。

対応ディスク	最大書き込み速度	最大読み込み速度
BD-R XL 3層 / 4層 ※2	4 倍速	4 倍速
BD-RE XL 3層 ※2	2 倍速	4 倍速
M-DISC (BD) ※3	4 倍速	6 倍速
BD-R DL 2層 / BD-R 1層	6 倍速	6 倍速
BD-R Lth	6 倍速	6 倍速
BD-RE DL 2層 / BD-RE 1層	2 倍速	6 倍速
BD-ROM	-	6 倍速
DVD-RAM ※1※2	5 倍速	5 倍速
M-DISC (DVD) ※3	4 倍速	8 倍速
DVD+R DL 2層	6 倍速	8 倍速
DVD-R DL 2層	6 倍速	8 倍速
DVD+R / DVD-R	8 倍速	8 倍速
DVD-RW / DVD+RW	6 倍速 / 8 倍速	8 倍速
DVD-ROM	-	8 倍速
CD-R / CD-RW	24 倍速	24 倍速
CD-ROM	-	24 倍速

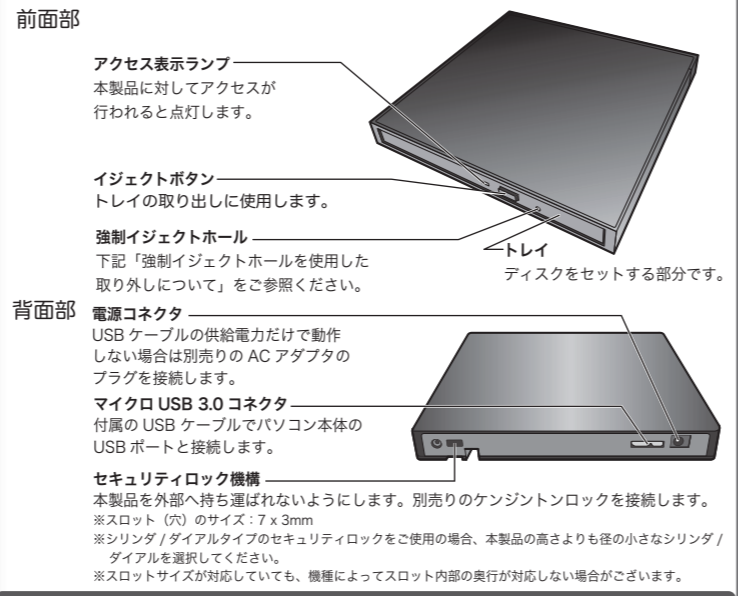
- ※1 RAM2 ディスクは読み込みのみで、書き込みはできません。カートリッジに入った DVD-RAM ディスクはカートリッジから取り出した状態で使用する必要があります。
- ※2 Mac OS でご利用の場合、BD-R XL、BD-RE XL、DVD-RAM への書き込み、読み込みは非対応です。
- ※3 M-DISC について
 「M-DISC」は米 Millenniata 社が開発した、長期記録保持用メディアです。通常の BD/DVD メディアと比べ、日光、温度、湿度による経年劣化の影響を受けづらく、長期的なデータ保存 / 読み込みが可能となります。Power2Go 8 でデータ保存をして頂くだけで、長期間、読み込み可能なメディアを作成する事ができます。
 ※長期記録保持メディア、M-DISC は、Millenniata 社が開発したものです。
 ※「M-DISC」は別途用意して頂く必要があります。

ハードウェア仕様

インターフェース	USB3.2 Gen1 (USB3.0)	
対応メディア	BD/DVD/CD/M-DISC/UHD BD	
環境条件	動作時	温度 10°C~35°C
	保管時	相対湿度 20%~80% (但し、結露なき事)
		温度 -10°C~50°C
相対湿度	10%~90% (但し、結露なき事)	
イジェクトボタン	あり	
アクセス LED	あり	
設置方向	水平	
外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)	138 x 14 x 133mm (本体のみ、突起部を除く)	
質量	230g (本体のみ)	
ディスクローディング方式	トレイ方式	
AACS / CPRM	対応 ※	

※AACS および CPRM 技術で保護されたディスクの複製はできません。

各部の名称とはたらき



本製品の取り扱いについて

■ディスクのセットと取り出し

ディスクをセットするときは本製品が通電した状態でイジェクトボタンを押しトレイを引き出します。タイトルが印刷されている面を上にしてディスク中央の穴をトレイの中央部にはめて、トレイを押し込みます。

※8cm ディスクも同じ方法でセットと取り出しが可能です。
 ※ディスクを取り出す際は、本製品が動作中でないことを「アクセス表示ランプ」で確認して、本製品から取り出しを行ってください。(パソコン側の操作は必要ありません。)
 Mac OS 環境ではマウントされているディスクのアイコンをゴミ箱に入れるか、Finder 上から取り出しを行ってください。
 ※ディスクの回転が完全に停止してから、ディスクを取り外してください。
 ※本製品は名刺タイプなどの規格外のディスクには対応していません。これらのディスクは使用しないでください。
 ※その他、ディスクの取り扱い上の注意は別紙の「はじめにお読みください」を必ずご確認ください。

■強制イジェクトホールを使用した取り出しについて

何らかの理由でディスクが取り出しできなくなったときは、強制的にトレイを排出させる事ができます。

排出方法
 本製品から USB ケーブル、AC アダプタ (接続している場合) を取り外し、本製品が通電していないことを確認し、強制イジェクトホールに、伸ばしたクリップ等、細長い棒を挿し込みます。強く押すとトレイが排出されますのでディスクを取り出し、トレイを再び閉じます。
 ※何かに引っかかり排出されない場合は修理をご依頼ください。

■設置時の注意

本製品はゴム足が貼られている面を下にして水平に設置してください。また、適切に転落・引き抜け防止措置をとってください。
 ※本製品が動作している状態での転落や、コネクタ類の引き抜けは故障・データ消失の原因となります。

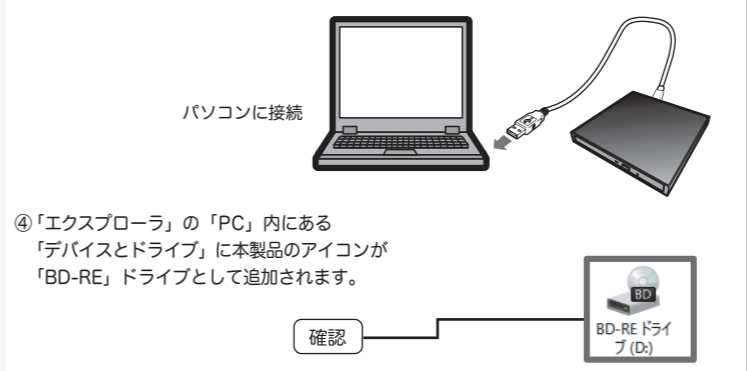
■使用上の注意

- 本製品にディスクを入れたまま移動したり、傾けたりしないでください。本製品やディスクを破損します。
- 本製品天面を強く押さないでください。トレイが閉まらなくなります。また、変形して故障の原因になる場合があります。
- 動作中に本体の天面を持ちたり、押したりすると書き込み・読み込みエラーや本製品の故障の原因となりますのでおやめください。

パソコンに接続する

Windows 10 の場合

- ① 本製品はまだ接続しないでください。
- ② 「エクスプローラ」を開き、「エクスプローラ」左側にある「PC」を選択します。
- ③ 付属の USB ケーブルで本製品をご使用のパソコンに接続します。
 ※ご使用のパソコンの USB ポートの形状に合った USB ケーブルをご使用ください。
- ④ 「エクスプローラ」の「PC」内にある「デバイスとドライブ」に本製品のアイコンが「BD-RE」ドライブとして追加されます。



Windows 8.1 の場合

- ① 本製品はまだ接続しないでください。
- ② タスクバーにある Windows アイコンを右クリックします。
- ③ 開いたメニューより、「エクスプローラ」を選択します。
- ④ エクスプローラの左欄にある「PC」または「コンピュータ」を選択します。
- ⑤ 付属の USB ケーブルで本製品をご使用のパソコンに接続します。
- ⑥ 本製品が自動的に認識され「デバイスとドライブ」欄に本製品のアイコンが「BD-RE」ドライブとして追加されます。

！パソコンから認識されない時は ...

本製品がパソコンから認識されない場合、以下の点をご確認ください。

- ご使用のパソコンの USB ポートに直接接続してください。
 本製品は USB ハブを介しての接続には対応していません。バスパワーの USB ハブでは供給電力が足りず、本製品を使用できません。たとえセルフパワーのハブであっても、USB ドライバの読み込み等の問題により、正しく認識されない場合があります。
- 接続先の USB ポートを変えてお試してください。

！ACアダプタ (別売) について

お使いのパソコン環境によっては、USB パスパワー供給の電力が不足する場合があります。不足する場合は、別売りの AC アダプタが必要です。AC アダプタをご使用の場合は、本製品をパソコンに USB 接続する前に、電源コンセントに AC アダプタを接続し、本製品の電源コネクタに繋いでください。



- USB パスパワーでご利用中に AC アダプタを接続すると接続が一度解除されてから、再度認識されます。
- 指定の AC アダプタ以外使用しないでください。感電や火災、故障の原因となります。

ソフトウェアについて

本製品をご購入のお客様は、BD/DVD/CD 書き込み・音楽データの作成ができるソフトウェアをダウンロードしてご利用いただくことができます。なお、ソフトウェアの詳細な説明は裏面の「Media Suite ランチャーの使い方」をご参照ください。

CyberLink Media Suite 10 for BD Vol.31

- ※BD/DVD 再生・編集用のソフトウェアは付属しておりません。別途ご用意いただく必要があります。
- ※CyberLink Media Suite 10 for BD Vol.31 に含まれるソフトウェアの概要については、裏面の「参考情報」をご参照ください。
- ※ソフトウェアの機能・画面・仕様は予告なく変更する場合があります。
- ※ソフトウェアは弊社向けにカスタマイズしたものです。
- ※市販されている同タイトルのソフトウェアとは機能・画面・仕様が異なる場合があります。
- ※BD/DVD ディスクにはラベルを張付けしないでください。ディスク回転のバランスが悪くなり、読み込み / 書き込み時のトラブルの原因になる事があります。

動作環境

対応パソコン	USB ポートを搭載する DOS/V パソコン
対応 OS	Windows 10 (64/32bit) Windows 8.1 (64/32bit)
CPU	Intel Core 2 Duo E6750 (2.66GHz) 以上 AMD Phenom9450 (210GHz) 以上 Atom Z3700Series 以上
メモリ	2GB 以上
GPU	Intel HD Graphics 以上 NVIDIA GeForce 9500G 以上 AMD Radeon HD 5000 以上
ハードディスク空き容量	200MB 以上
解像度	1024 x 768 以上

- ※ 全てのパソコンでの動作を保証するものではありません。使用しているパソコンの設定やインストールされているアプリの組み合わせなど、環境によっては使用できない場合もございます。
- ※ 対応 OS はいずれも日本語 OS に限ります。
- ※ 2020 年 4 月時点

UHD BD を再生するには下記環境が必要となります。

対応 OS	Windows10 以上 ※2020 年 4 月現在
対応パソコン	①Intel SGX (Software Guard Extension) 対応
※右の全ての条件を満たしている必要があります。	②CPU : Intel 第 7 世代の Core i5, i7 (Kaby Lake -S/-H) 以降
	③HDMI : 2.0/2.0a 以降 (HDCP2.2 出力対応)
	④再生時にはインターネット接続環境が必要
	⑤USB3.0 環境へ接続が必要
対応モニター:	4K 対応モニター (HDMI : 2.0/2.0a 以降 /HDCP2.2 出力対応)

UHD BD に対応した再生ソフトウェアは別途購入ください。
 本製品には UHD BD 再生ソフトは添付しておりません。

Mac でご利用の場合

本製品は Intel 製 CPU、USB ポートを搭載する次の Mac OS でご利用いただけます。
 macOS Catalina (10.15)、macOS Mojave (10.14)、macOS High Sierra (10.13)、macOS Sierra (10.12)、Mac OS X 10.11、10.10、10.9、10.8、10.7、10.6、10.5
 ただし、ダウンロードいただけるソフトウェアは Mac OS ではご利用いただけません。
 市販のソフトウェアまたは Mac OS に搭載されている機能を使用して DVD の再生 / 書き込みを行ってください。
 Mac OS ではデジタル放送で録画したディスク (AACS、CPRM) の再生は行えません。また、DVD レコーダーで録画したディスクの編集 (VR) はできません。
 Mac OS でご利用の場合は、DVD-RAM への書き込み、読み込み、BD-R XL、BD-RE XL への書き込みは非対応です。

裏面もお読みください

インストールについて

① はじめに以下の URL から CyberLink Media Suite をダウンロードしてください。

<https://dl.logitech.co.jp/software.php?pn=LST-D-490>

② ダウンロードし「MediaSuite10BD_vol31_xxxxxxx.EXE」ファイルを開解し、フォルダ内の「CyberLink Media Suite10BD_vol31_xxxxxxx.exe」アイコンをダブルクリックします。

※ファイル名の xxxxxxxx の部分には 8 桁の数字が記載されています。

ダブルクリック



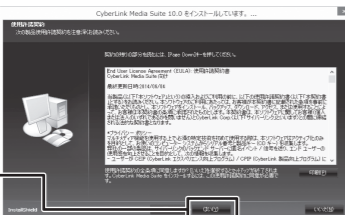
③ インストールファイルの自己解凍が始まります。このプロセスには数分かかる場合があります。

※「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合、「はい」をクリックしてください。



④ インストールウィザードが起動し「使用許諾契約」の画面が表示されます。許諾内容をご確認の上、「はい」をクリックしてください。

クリック



⑤ プロダクトキー（シリアル番号）の入力画面が表示されます。シリアル番号を入力し、「次へ」をクリックしてください。

1. 入力

2. クリック



※ プロダクトキー（シリアル番号）本誌表面の「はじめに～ソフトウェアのダウンロードとインストールについて～」に記載されています。半角英数字で正確に入力してください。

※ この後は画面の指示に従いインストールを行ってください。

⑥ インストールが完了すると「InstallShield Wizardの完了」画面が表示されます。画面下の「完了」ボタンをクリックしウィザードを終了させ、コンピュータを再起動してください。

⑦ 再起動後、デスクトップに作成された、「CyberLink Media Suite 10」のショートカットをクリックしてください。

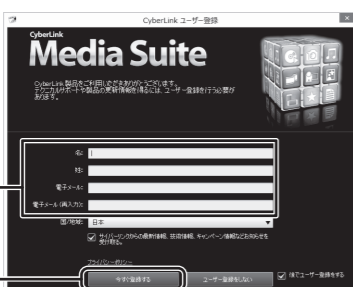
クリック



⑧ はじめて起動すると「CyberLink Media Suite ユーザー登録」の画面が表示されます。お名前、電子メールアドレスを入力し、「今すぐ登録する」をクリックしてユーザー登録をお勧めします。

1. お名前と電子メールアドレスを入力

2. クリック



※ ユーザー登録にはインターネット接続環境が必要です。

※ CyberLink Media Suite 内の各ソフトウェアをはじめて起動する時もそれぞれのソフトでユーザー登録画面が表示されます。同じようにユーザー登録をお願いします。

⑨ ユーザー登録後、「CyberLink Media Suite」のメイン画面が表示されます。



※ 使用方法については「Media Suite ランチャーの使い方」をご参照ください。

Media Suite ランチャーの使い方

Media Suite ランチャー起動画面



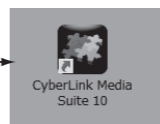
ソフトウェアのアップデート / アップグレードの確認

CyberLink Media Suite のヘルプ

起動方法

CyberLink Media Suite10 を起動するには、デスクトップに作成されたショートカットアイコンをクリックします。

クリック



インストールされているすべての CyberLink 製品が一覧表示されます。CyberLink Media Suite のバージョン情報が表示されます。CyberLink Media Suite 環境設定、表示言語の設定が行えます。

やりたいことに応じて、ライティングソフト「Power2Go for BD」が起動するランチャーです。②「動画」を選択した場合は「PowerDirector12 LE (体験版)」が起動します。各ソフトウェアの利用方法はヘルプを参照するか、弊社 Web サイトを参考にしてください。

①お気に入り タブ

各タブ内で表示される項目の左横の☆マークをクリックすることでこのタブにメニューを登録することができます。

例 お気に入りに追加したい項目の左横の☆マークをクリック

☆ データ ディスクの作成

☆マークが黄色にかわると、「お気に入り」に追加されます。

★ データ ディスクの作成

②動画 タブ

☆「動画の詳細編集」体験版の PowerDirector12 LE が起動します。

③画像 タブ

☆フォトギャラリーディスクの作成
PC で実行可能なフォトディスクを作成することができます。書き込みを行うメディアタイプを選択し、アルバムに追加するフォトデータを選択し、ディスクに書き込んでください。

④音楽 タブ

☆オーディオ CD の取り込み
オーディオ CD の取り込みたい曲を任意のフォルダに録音することができます。

☆音声ファイルの変換
MP3 等の音楽ファイルを WMV や WMA 形式のファイルに変換することができます。また、変換時にビットレートを再指定することも可能です。

☆ミュージックディスクの書き込み
お手持ちの音楽ファイルから一般の CD プレーヤーで再生可能なオーディオ CD の作成ができます。

！ 著作権が存在する映像・音声コピーは違法です。本製品ではそれらのメディアの書き込みやコピーは禁止します。

⑤データ&バックアップ タブ

☆データディスクの作成
パソコン内のデータファイルを様々なタイプのディスクに書き込むことができます。

☆ディスクのコピー、ディスクイメージの書き込み
お手持ちの CD/DVD/BD ディスクのコピーやイメージ保存、保存したイメージの書き込みができます。

⑥ユーティリティ タブ

☆ディスクの消去
書換え可能なディスク (RW メディア) を消去します。

☆ディスクイメージからファイルを抽出
CyberLink ISO ビューアーが起動し、ISO,P2I(Power2 GO イメージ)、RDF 形式のディスクイメージからファイルへアクセスすることができます。

⑥ユーティリティ タブ (左下から続く)

☆仮想ドライブのマウント

ISO,P2I (Power2 GO イメージ)、RDF 形式のディスクイメージマウントしエクスプローラでイメージが利用できるようになります。

☆DVD フォルダの書き込み

DVD メディアコンテンツの格納用フォルダを DVD イメージに書き込みます。

！ ※ソフトウェアの機能・画面・仕様は予告なく変更する場合があります。※表示される項目は実際と異なる場合があります。※ソフトウェアは弊社向けにカスタマイズしたものです。市販されている同タイトルのソフトウェアとは機能・画面・仕様が異なる場合があります。

参考情報

CyberLink Media Suite 10 には以下のソフトが含まれています。

Power2Go 8 for BD *
データディスクやイメージディスクの書き込みやディスクの消去をすることができます。

*ビデオ CD の作成、DVD - Video の作成、リカバリーディスクの作成には対応しておりません。この機能を有効にするには有償にてアップグレードする必要があります。

■ソフトウェア使用上の注意

- 市販されている BD / DVD のビデオタイトルをバックアップすることはできません。
- BD / DVD ディスクにはラベルを貼付しないでください。ディスク回転のバランスが悪くなり、読み込み / 書き込み時のトラブルの原因になる事があります。

サポートサイトについて

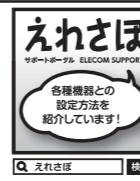
※ソフトウェアのお問い合わせは CyberLink 社へお願いします。

お問い合わせ先名称: サイバーリンクカスタマーサポート

電話番号: 0570-080-110 (ナビダイヤル)
03-5205-7670 (PHS/一部 IP 電話から)
受付時間: 月曜～金曜: 10:00～13:00、14:00～17:00
(土・日・祝日・特別休業日を除く)

電子メールでの受付:
<お問い合わせ専用 Web フォーム>
<https://jp.cyberlink.com/prog/support/cs/contact-support.jsp>
ホームページ:
<https://jp.cyberlink.com/support/index.html>

弊社ホームページから製品情報を確認する事が出来ます。パソコンからは「えれさば」を入力し、検索してください。また、スマホ・タブレットからは右の QR コードから最新のサポート情報がご確認いただけます。



えれさば ELEM SUPPORT
各種機能との設定方法を紹介します!

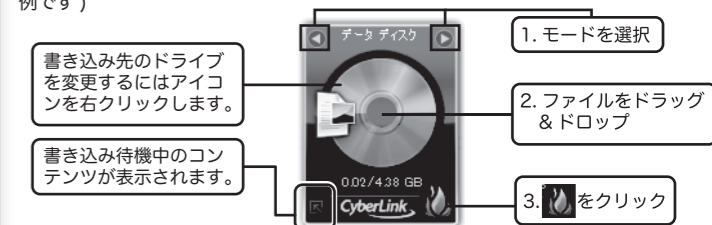
あなたのスマートフォンから各種設定方法がわかる!!



デスクトップ書き込みガジェットについて

「デスクトップ書き込みガジェット」を使うとデータをディスクに簡単に書き込む事ができます。デスクトップ書き込みガジェットはデスクトップに常駐しており、いつでもファイルをドラッグ & ドロップする事でディスクへの書き込みが行えます。

書き込みガジェットは「データディスク」「オーディオ CD」「ディスクコピー」に対応しています。アイコンの上にある◀▶をクリックしてモードを選択します。選択後、対応するファイルをドラッグ & ドロップし、🔥をクリックする事で簡単に書き込みが行えます。(図は「データディスク」ガジェットが選択されている例です)



※デスクトップ書き込みガジェットが表示されていない場合、以下の手順でいつでも表示させる事ができます。

●Windows 10「スタート」メニューからアプリの一覧で、「CyberLinkMedia Suite」-「デスクトップ書き込みガジェット」と選択します。



Windows 10 の例

●Windows 8.1 アプリケーションの一覧で「デスクトップ書き込みガジェット」のアイコンをクリックします。

ディスクイメージの保存と書き込み

既にあるディスクのイメージをパソコンのハードディスク内に保存し、保存されたデータを別のディスクに書き込む事ができます。

- ① 本製品にディスクイメージでハードディスクへディスクバックアップを行いたいディスクをセットし、「Media Suite」を起動します。
- ② 「データ&バックアップ」タブから「ディスクコピー、ディスクイメージの書き込み」を選択します。
- ③ Power2Go が「ディスクコピー」を選択した状態で起動します。「ディスクイメージの保存」を選択します。
- ④ 「ディスクイメージの保存」画面が表示されます。「読み取り元」に本製品のドライブ名が表示されていることを確認し、「書き込み先」と「保存の種類」を指定して、「保存」をクリックします。

※ コピーが禁止されているディスクのイメージは保存できません。
※ 保存形式は Power2Go イメージファイル (*.p2i) と ISO イメージファイル (*.iso) から選択できます。書き込み形式はこの2つのイメージファイルの他に、.rdf ファイル形式に対応しています。
※ 保存されたデータは新規タスクウィンドウから「ディスクコピー」-「ディスクイメージの書き込み」から書き込む事ができます。

体験版ソフトウェアについて

本製品では下記の体験版ソフトが付属しています。体験版ソフトウェアは MediaSuite10 for BD Vol31 に組み込まれた形でインストールされます。

CyberLink PowerDirector12 LE (動画編集)

本格的な動画の編集、オリジナルムービーが作成でき、BD,DVD メディアに書き出すことが可能なソフトウェアです。

CyberLink PhotoDirector5 LE (写真編集 / 管理)

幅広いカメラの RAW ファイル形式に対応した写真管理ツールです。レタッチ、補正やエフェクト機能を使用して写真編集が可能です。

※体験版はご使用いただける機能が限られております。全ての機能をご使用になりたい場合は、有償でアップグレードする必要があります。

ポータブルブルーレイユニット セットアップガイド
LBD-PWA6U3CL_SG1_V01



2020年 8月 初版 ©ロジテックINAソリューションズ株式会社
© 2020 Logitech INA Solutions Co.,Ltd. All rights reserved.